



「ペダル式」消毒液スタンド H-830/BST

取扱説明書

<組み立て方の「動画解説」>



<https://youtu.be/osLZWRCzCLE>

この度は、手押しポンプ式ボトル対応「ペダル式」消毒液スタンド(H-830/BST)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に理解して安全にお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。

※消毒液スタンドとして使用する場合は、ハイハットスタンド(H-830)に付属の「取扱説明書」は不要となります(ハイハットスタンドとして使用する場合にご確認ください)。また、テーブルには「取扱説明書」はございませんので予めご了承ください。

安全にお使いいただく為に

このたびは、パール製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。思わぬ事故やケガを防ぎ安全にご使用いただくため、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読み下さい。また本書は大切に保管して下さい。本製品の使用場所や日常の取扱いについて、安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。また、小さなお子さまがご使用になる場合は、必ず管理者及び保護者の方が操作を行ってください。

表示記号について

本書では、本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に危害を及ぼすことや財産の損害を未然に防ぐための事項を下記の記号で表示しています。内容を良く理解してから組み立ての作業にお取りかかり下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

●外部要因によって生じた本器の故障、不具合などの損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

設置上のご注意



警告

ネジ類はしっかりと締めてください。

使用中の転倒や落下を防ぐために、ネジ類はしっかりと締めてからご使用ください。

スタンドの周辺での「遊び」は危険です。

スタンドの周りで遊びますと顔や頭をぶついたり、つまずいて転んだりする恐れがあります。スタンドの周りでは絶対に遊ばないようにご注意ください。



注意

スタンドを設置する際の注意!

設置場所は、床面が平らで丈夫な所をお選び下さい。床が傾いていたり段差があると不安定になり、転倒する恐れがあります。また、テーブルをセッティングの際は、スタンドにしっかりと固定し、スタンドが安定して設置されていることを確認したうえで、ご使用ください。室内でお使いになる場合、スタンド等で床などを傷つけたり汚したりする恐れがありますので、直接置かずカーペットなどを敷いてからセッティングされることをおすすめします。

転倒にご注意ください。

スタンド設置時には三脚を十分に開いてご使用ください。

スタンド及びテーブルの調整時は、必ず上部を支えながら行ってください。

スタンド及びテーブルの高さや角度を調整する際に急にネジを緩めると、落下によって指を挟む恐れがあります。しっかりと支えてからゆっくりとネジを緩めてください。

天災の時はスタンドに近づかないでください。

地震による強い揺れでスタンドが移動したり転倒する恐れがあります。地震の際にはスタンドに近づかないようにしてください。

取扱い上のご注意



警告

鋭利な部分の取り扱いには、とりわけ注意して下さい。

機能上、先端部分が鋭い形状となっている部品がありますので、取り扱いには十分注意して下さい。

スタンドの三脚を開脚、折りたたむ際は指をはさまないように。

スタンドの三脚を開脚や折りたたむ際は、三脚で指を挟む恐れがありますので、作業には十分注意して下さい。

フットボード、チェーン、フルロッド等の可動部分にご注意ください。

フットボード、チェーン、フルロッド等の可動部分に指や顔など近づけると大変危険ですので十分に注意してください。

スタンドのパイプの切断面にご注意下さい。

スタンドのセッティングや収納の際、パイプ断面で指などにケガをする恐れがありますので、十分に注意してください。故意もしくは、不必要にパイプ内へ指を差し込んだり、覗き込んだりする行為はおやめください。



注意

手押しポンプ式ボトル(ノズル)のサイズ、形状にご注意ください。

ボトル及びノズルのサイズや形状によっては適応しない場合や思わぬ方向に射出される恐れがありますので、必ず確認テストを行ってからご使用ください。(※ボトルの推奨サイズは500mlとなります。)

消毒液の射出量にご注意ください。

ペダルを踏み切った状態で、必ずスライドプレートの高さを確認、調整を行い、消毒液の射出量には十分に注意してください。

ネジ部の油にご注意ください。

スタンドのネジ部分、可動部分には潤滑油としてグリスが使用されています。持ち運びの際に衣服に付着する恐れがありますので、十分に注意してください。

金属部品のサビや劣化にご注意ください。

金属部品は使用しているうちにサビを生じたり、傷ついたりします。サビたり傷ついた部品を強くこすって手にケガをしないようご注意ください。また、スタンドのペダルは素足で踏まないようにしてください。

使用前は、ネジ類をご確認ください。

スタンド、テーブルのネジ類は使用するにつれ、緩む場合があります。緩んだまま使用しますと思わぬケガをする恐れがあります。使用前には必ずネジ類を締め直してご使用ください。

危険物のセッティングはやめてください。

スプレーボトルのセッティングの際、危険物の使用はおやめください。また破損したボトルのご使用はおやめください。

保管上のご注意



お願い

高温・多湿となる場所は避けてください。

車の中や直射日光のあたる場所に長時間本製品を保管したりしないよう、保管場所には十分注意してください。

金属部品は時々乾拭きしてください。

サビを防止するために、ドラム本体の金属パーツやスタンド類は時々乾拭きしてください。

危険物のセッティングはやめてください。

スプレーボトルのセッティングの際、危険物の使用はおやめください。また破損したボトルのご使用はおやめください。

メンテナンスについて

スプレーボトルのセッティングの際、危険物の使用はおやめください。また破損したボトルのご使用はおやめください。

●各部名称



① 脚部の組み立て

脚部を床に寝かし、フットボード下のラジャスロッドの先端（左右とも）をメインポストの接続部（穴）に差し込みます。ウイングボルトをゆるめ三本のレッグを開きます。メインポストが垂直に立っていることを確認し、ウイングボルトを締めて、脚部を固定します。

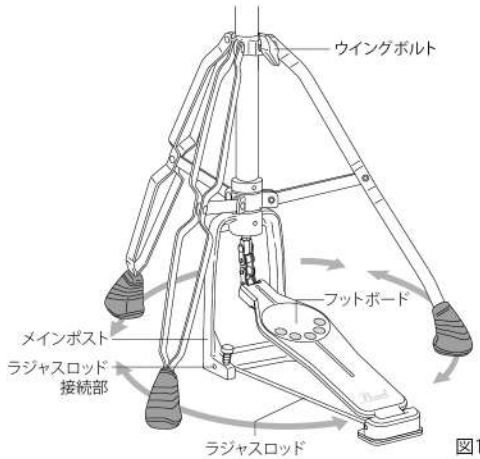


図1

●スィーベリングレッグ

脚部は設置場所の必要に応じて邪魔にならない位置に回転出来ます。ウイングボルトをゆるめれば、レッグは簡単に回転します。

●注意

使用前に脚部が安定し、ウイングボルトがしっかりと締まっていることを必ずご確認ください。

② 上部の組み立て

上部パイプの中に収納されているプルロッドを引き抜き、クラッチのウイングボルトをゆるめ、プルロッドから抜き取ります。プルロッドを脚部ダイカストジョイント内コネクターに差し込み（図2-1）、止まるまでしっかりネジ込みます（図2-2）。

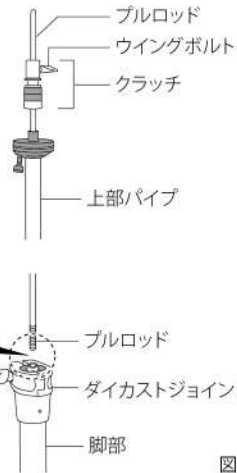
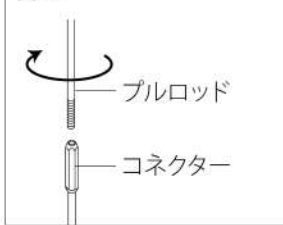


図2-1

図2-2



次に上部パイプを脚部ダイカストジョイントに差し込みます。「フェルトワッシャー」と「スチールワッシャー」は、使用しませんので取り外してください。（図3）この時点では上部パイプの高さは「中間あたり」の位置で仮固定してください。



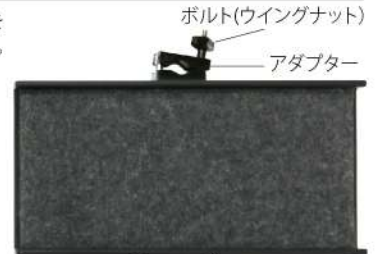
図3

フェルトワッシャー スチールワッシャー

※1「フェルトワッシャー」と「スチールワッシャー」は、楽器として使用される場合に必要となりますので、大切に保管してください。

③ テーブルの取り付け方

アダプターのボルトをゆるめ、上部パイプをアダプターで挟みボルトを締めてください。（図4）
テーブルはハイハットカップに触れる程度の位置で固定してください。（図5）



●テーブル



図4

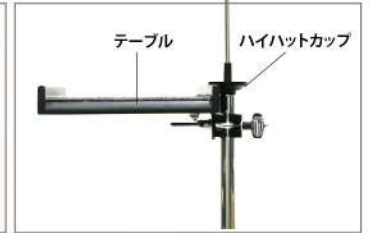


図5

④ スライドプレートの取り付け方



4-1

ロックナット②、フェルトワッシャーを取り外します。

※フェルトワッシャーは使用しません。楽器として使用される場合に必要となりますので大切に保管してください。



4-2

スライドプレートをクラッチに通します。



4-3

ロックナット②をネジが止まるまで、しっかりねじ込んでください。

ロックナット①のネジを回し、スライドプレートをロックナット②と挟んでしっかり固定してください。



4-4
 スライドプレートをプルロッドに取り付けます。
 ※この時点ではプルロッドの上部位置で仮固定してください。

●アドヴァイス(プルロッドがゆるんで回転してしまう場合には)
 プルロッドの固定がゆるんで回転してしまう場合は、プルロッドにクラッチを取り付け後、固定されたクラッチごとプルロッドを回して増し締めしてください。(※締め過ぎにはご注意ください)

⑤ ボトルのセッティング

ボトルをテーブルの「フチ」に押し当てる位置でセットしてください。(図6)
 スライドプレートがノズルの真上になるようにボトルとスライドプレートの位置を調整してください。(図7)



図6

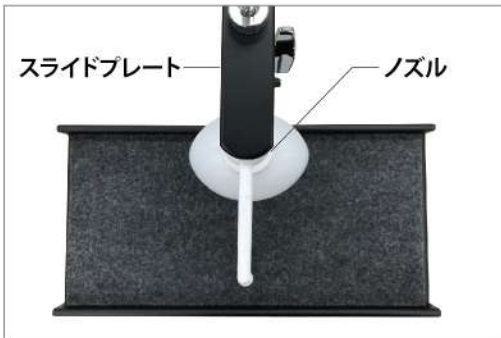


図7

●ボトルをテーブルに固定したい場合には、市販の両面テープ(マジックテープ)等をお使いください。
 ※推奨ボトルサイズ(500ml)。ボトルやノズルの形状によっては適応しない場合がございますので予めご了承ください。

⑥ 高さ調整(テーブル)

ボトルの大きさやノズルの射出高さに合わせて、上部パイプを調整してテーブルの高さ(位置)を調整してください。



<低い>



<高い>

⑦ 高さ調整(スライドプレート/射出量の調整)

スライドプレートの高さ(位置)を調整し、射出量の調整をしてください。

⚠ 注意とお願い



射出量の調整は、必ずペダルを最後まで「踏み切った」状態でスライドプレートの高さや位置を確認し、調整を行ってください。
 また、使用前には必ず射出の量や方向の確認を行ってください。

<射出量の調整について>



<射出量/多い>
 ●スライドプレートがノズルに接地



<射出量/少ない>
 ●スライドプレートとノズルにスペースあり
 ※ノズル自体の上下(可動幅)を確認調整

<※射出量の設定について>

小さなお子様や高齢の方が使用する場合、一度に多量の消毒液が射出される恐れがありますので、一回の射出量を少なめに調整し、必要に応じて射出を二回に分けて手指全体の消毒を行うことをおすすめ致します。



7-1
 ボルトを緩めスライドプレートをノズル位置から、斜めに向きを変えます。

ペダルを最後まで踏み込み込んだ状態でスライドプレートの高さ位置を確認してボルトを締めてください。



7-2
 ペダルから足を離し、プルロッドを元の高さ位置に戻します。
 スライドプレートの高さを変えないように注意しながら、プレートの向きをノズルの真上位置に合わせてください。

●組み立て完了



●参考例：用途に応じてテーブル&スライドプレートの向きを変えることが可能です。



●対面射出

ノズルの射出方向を正面から対面することでハンズフリーとなるため、イベント会場の受付対応など使用用途に応じて効率化が図れます。



●側面射出

ノズルの射出向きを正面から横に変えることで使用用途や射出に伴う思わぬトラブルなどへの対応アレンジとして。

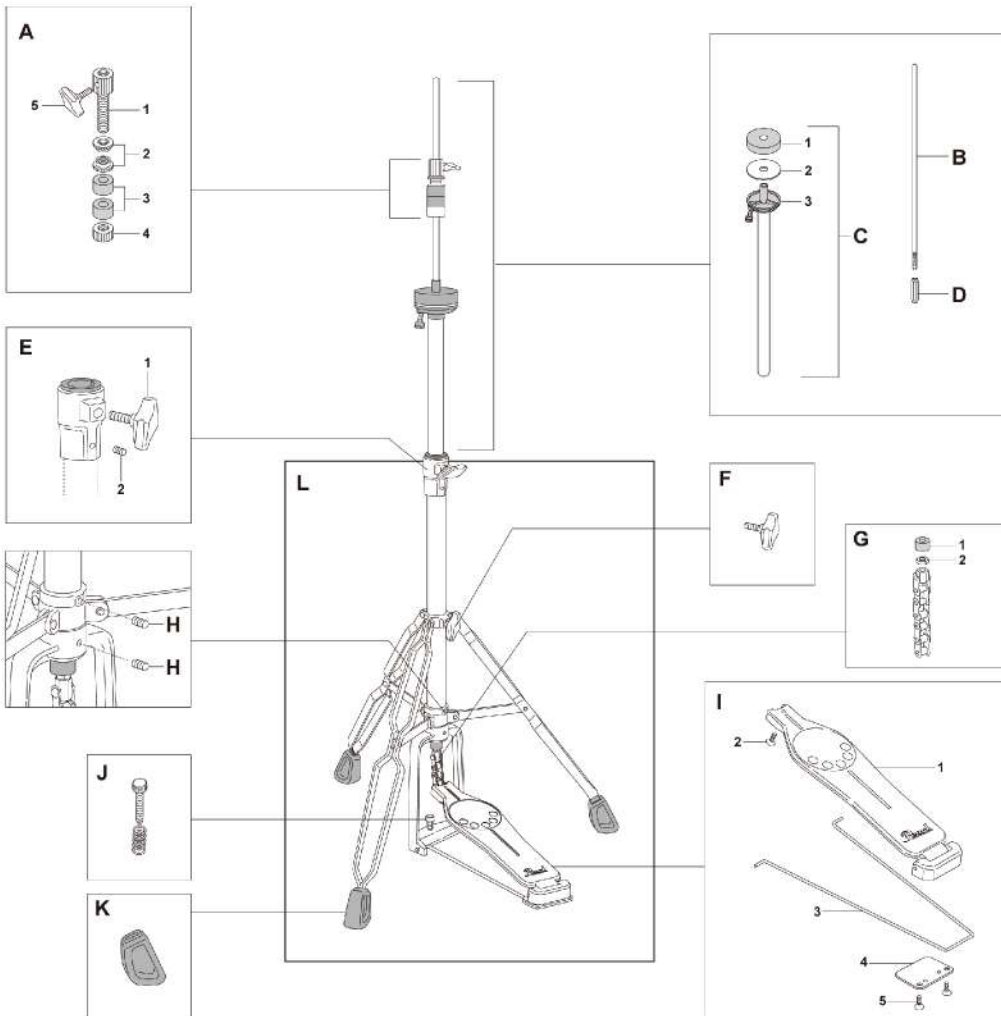


●操作案内の掲示例

市販のクリップ等を利用した操作案内の掲示見本。

※左記の「操作案内」のデータは、弊社WEBサイトより画像をダウンロードできます。必要に応じてご利用ください。

●アフター対応：スペアパーツリスト (※スペアパーツが必要になった際はご購入楽器店、またはお近くのパール楽器取扱楽器店までご相談ください。)



●ハイハットスタンド(H-830)

A	HCL-79	Hi-Hat Clutch Complete
A 1	SM-011	Pipe Bolt
A 2	AM-001	Lock Nut (one each)
A 3	FE-10	Felt Washer (one each)
A 4	AM-002	Bottom Lock Nut
A 5	UGB-610	Die-Cast Wing Bolt
B	SM-012	Upper Pull Rod
C	UT-183	Upper Tube Assy. Complete
C 1	FE-33	Felt Washer
C 2	HCW-90	Steel Washer
C 3	HHC-90	Plastic Cup w/Filter
D	ME-42N	Pull Rod Connector ONLY
E	PJ-93L	Die-Cast Joint Assy. Complete
E 1	UGB-8155	Die-Cast Wing Bolt
E 2	SB-44	Allen Screw
F	UGB-8155	Die-Cast Wing Bolt
G	LC-93	Pull Rod Link Assy.
G 1	RB-017	Rubber Washer
G 2	NU-19	Nut
H	SB-55	Allen Screw
I	FB-930UHA	Footboard Assy. Complete
I 1	FB-930U	Footboard ONLY
I 2	SC-367	Screw
I 3	RR-93	Radius Rod
I 4	STL-2	Radius Rod Cover
I 5	SC-3665C	Screw
J	LT-626	Anchor Screw w/Spring
K	RB-022	Rubber Tip (one each)
L	BA-H83	Base Assy. Complete

- テーブル用ウイングナット(UGN-8/B)
- スライドプレート(PR-728)

※上記、パーツリストは製品改良等により、予告なく品番、価格、デザイン、仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

<ご案内>

基本セッティングにてスライドプレートをクラッチに取り付けた際に、プレートの緩み(固定)が気になる場合は、下記のセッティング方法にて取り付けを行ってください。

<組み立て方の「動画解説」>



スライドプレートの取り付け方法② (フェルトワッシャー使用セッティング)

●各部名称



●フェルトワッシャー使用セッティング



※「フェルトワッシャー-B」は使用しません。
楽器として使用される場合に必要となりますので大切に保管してください。



【※ご注意ください】

～「誤った」スライドプレートの取り付け方(見本例)～

ハイハットシンバルをセッティングするような形で、スライドプレートをフェルトワッシャーで挟み、クラッチへの取り付けは行わないでください。ペダルを踏み込んでノズルを押す際に、スライドプレートがフェルトの弾力で上下に動いてしまう恐れがありますので、十分にご注意ください。

<誤った取り付け方>

